

# 令和6年度教育課程研究集会

中学校 技術・家庭  
(家庭分野)

# 家庭分野の指導における 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた 授業改善について

令和6年8月

奈良県教育委員会事務局

義務教育課 義務教育指導係

指導主事 岡寄 仁美

# 家庭分野の目標

見方・考え方

実施する学習活動

育成すべき資質・能力

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

知識及び技能

(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。

思考力、判断力、表現力等

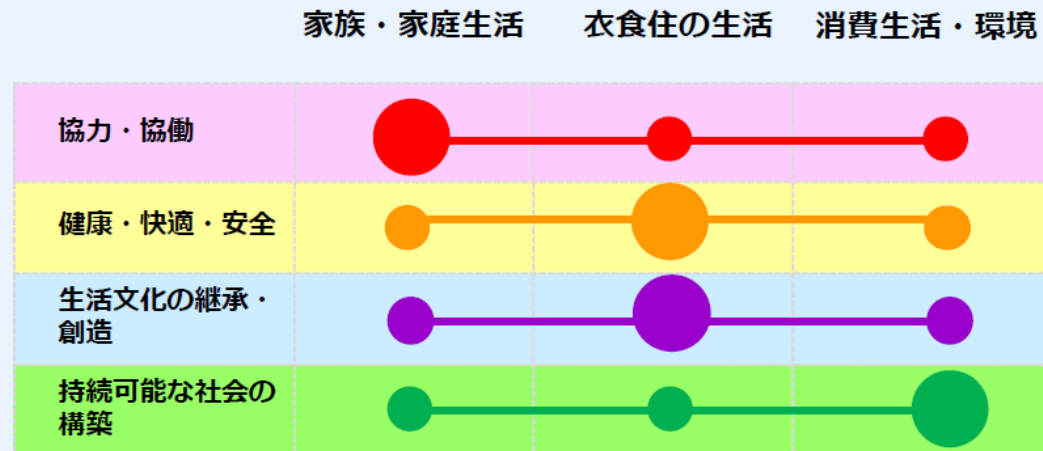
(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

学びに向かう力、人間性等

# 生活の営みに係る見方・考え方

家族や家庭，衣食住，消費や環境などに係る生活事象を，**協力・協働**，**健康・快適・安全**，**生活文化の継承・創造**，**持続可能な社会の構築**等の視点で捉え，よりよい生活を営むために工夫すること。

## 自立し共に生きる生活の創造



※主として捉える視点は  
大きい丸で示している



# 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ）

## 主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

## 対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

## 深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

## 主体的・対話的で深い学び

学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

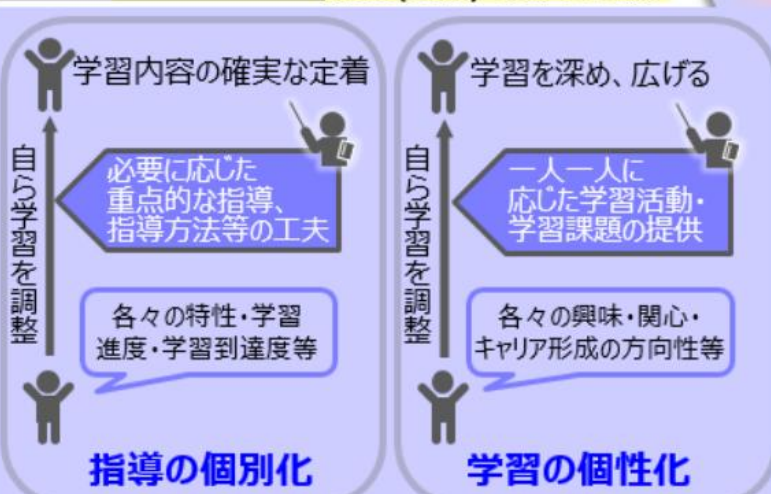
学習指導要領 総則 第4 児童(生徒)の発達の支援

一体的に  
充実

授業外の  
学習の改善

授業改善

資質・能力の育成



## 個別最適な学び（教師視点では「個に応じた指導」）

修得主義 ・個々人の学習状況に応じて学習内容を提供 ・一定の期間における個々人の学習の状況・成果を重視  
の考え方を生かす

異なる考え方が組み合わせり  
よりよい学びを生み出す



## 協働的な学び

多様な  
他者と協働

一人一人の  
よい点・可能性

クラスメイト



異学年・他校の子供



地域の人



専門家



等

これからの学校には……一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。



平成29,30年改訂  
学習指導要領 前文



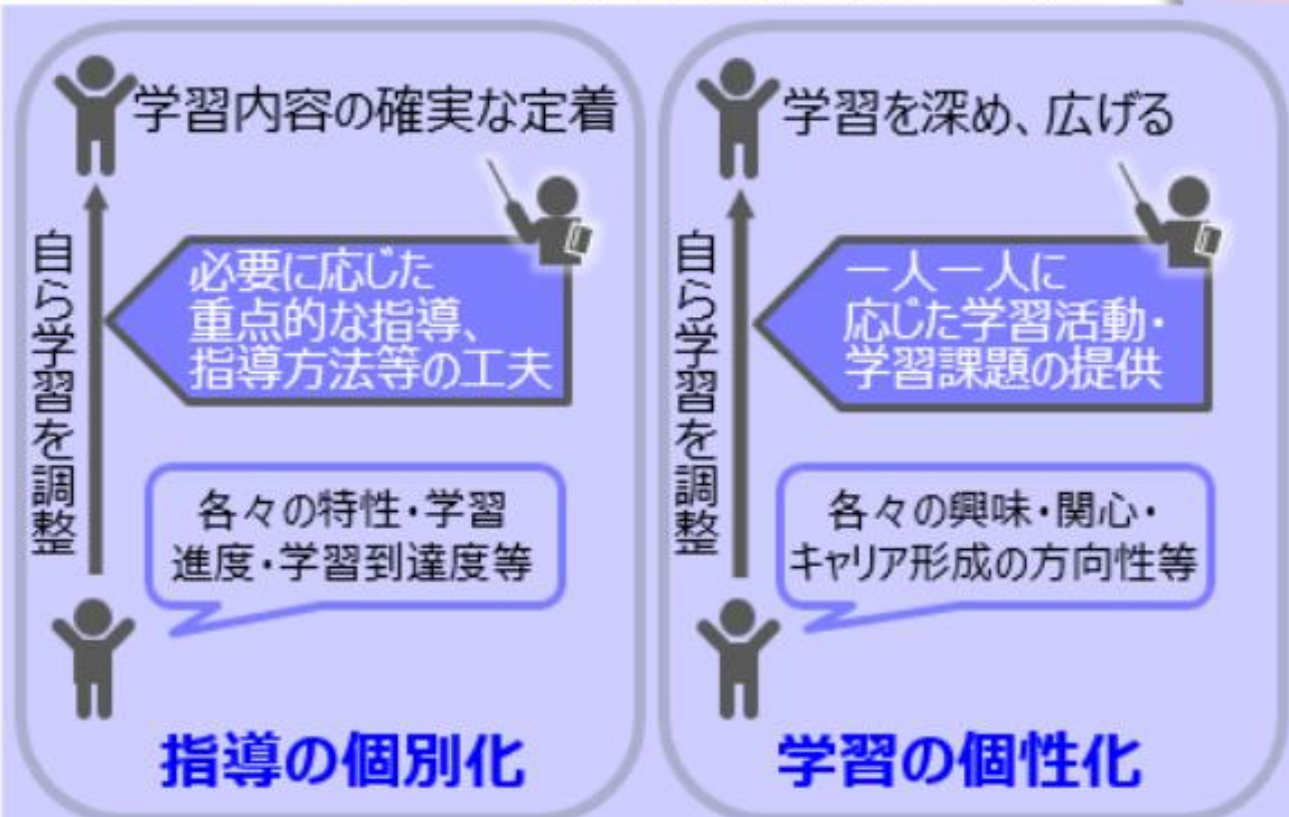
# 主体的・対話的で深い学び

学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

学習指導要領 総則 第4 児童(生徒)の発達の支援

一体的に  
充実

授業外の  
学習の改善



**個別最適な学び** (教師視点では「個に応じた指導」)

異なる考え方が組み合わせり  
よりよい学びを生み出す



多様な  
他者と協働

一人一人の  
よい点・可能性



**協働的な学び**

クラスメイト



異学年・他校の子供



地域の人



専門家



等

修得主義 ・個々人の学習状況に応じて学習内容を提供 ・一定の期間における個々人の学習の状況・成果を重視  
の考え方を生かす

・生員に対して共通に教育を行う ・一定の期間の中で個々人の多様な成長を包含

履修主義  
の考え方を生かす

# 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

「主体的な学び」の視点

「対話的な学び」の視点

「深い学び」の視点

## 「主体的な学び」の視点

現在及び将来を見据えて、生活や社会の中から問題を見いだし課題を設定し、見通しをもって解決に取り組んだり、学習の過程を振り返って実践を評価・改善して、新たな課題に主体的に取り組んだりする

- ・題材を通して見通しをもたせる場面

- ・題材を振り返る場面



## 「対話的な学び」の視点

他者と対話したり協働したりする中で、自らの考えを明確にしたり、  
広げ深めたりする

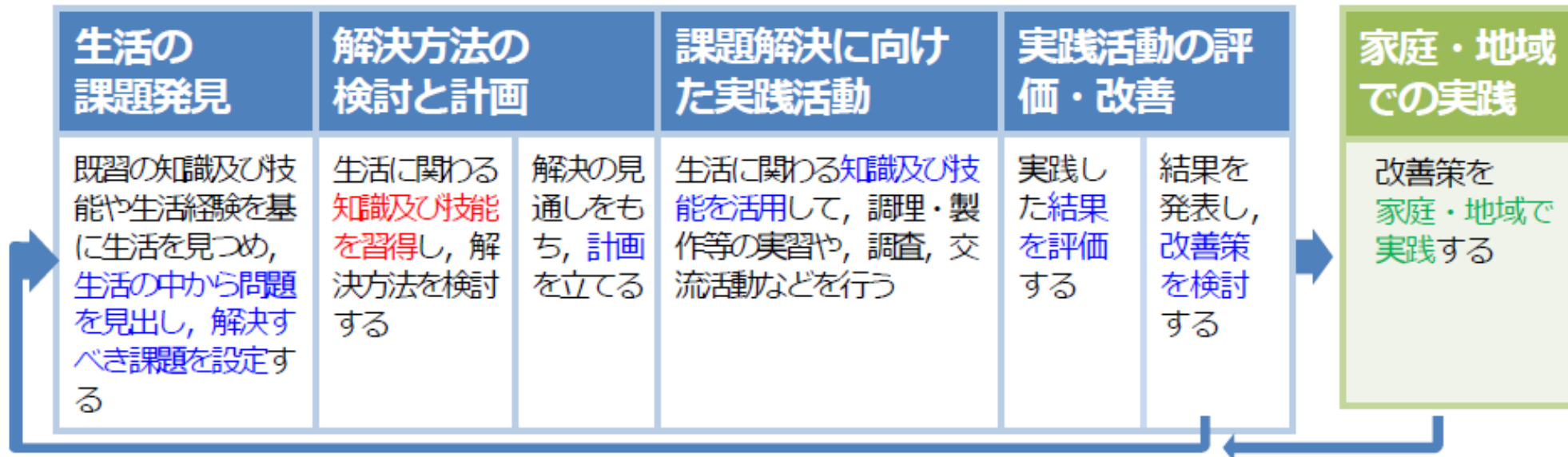
・解決方法を探る場面

・実践を振り返る場面

# 「深い学び」の視点

生徒が生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けた解決策の検討、計画、実践、評価・改善といった一連の学習活動の中で、生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら課題の解決に向けて自分の考えを構想したり、表現したりして、資質・能力を獲得する

## 家庭分野の学習過程の参考例



## まとめ

主体的な学び	主体的に学習に取り組めるように、学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする場面をどこに設定するか
対話的な学び	対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに設定するか
深い学び	学びの深まりをつくりだすために、生徒が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか